

[04_04]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1467977>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 4 (4), 1971-08-02. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：



編 集 後 記

広報vol.4 .No.4 をお届けします。

今度の広報は、88ページという厚いものとなりました。

年度初めの多くの新しい課題登録と、利用者が作って、登録されたたくさんのライブラリプログラムの資料がのっております。

自分で作ったプログラムで、他の人にも役立つだろうと思われるプログラムをサブルーチン形式にし、センターのライブラリに登録したものです。他にそのようなプログラムを持っていらっしゃる方は登録申請をして、センターのライブラリが豊富になるようご協力ください。

同じような問題を解くプログラムでも、時間がかかるが精度はいいとか、精度は悪いが時間は速いといった特長や、いろいろな工夫がしてあるものです。利用者の方はどんなプログラムが登録されているか調べて、ご利用ください。

「端局の利用について」と題して、九州大学教養部 竹田教授に、T S S の端末から計算させた経験から T S S のつかい方について書いていただきました。

端末から入力して、計算結果の出る遅さや、少しのミスにも思うようにゆかないことに、イライラしたり、いろいろなことをしてみたが「どうなるだろう」と少々オロオロしながら、計算させていらっしゃる様子が目に浮かぶようです。

実際に使っている方の書かれた、T S S に関するものは今までありませんでした。

現在、T S S を使っている方、または今から使おうと思われる方は参考になるでしょうし、使ったことのない方でも「T S S はこんなものか」と見当がつくものと思います。

「端局の利用について」に対して、「T S S について」と題して、現在のシステムの概要、利用法、利用状況、苦言、要望に対する回答を書いております。

今までの皆様のご協力のおかげでT S S も現在に至りましたが、現在、実験の段階ですので、今後とも、よろしくおねがいたします。

(小野記)